

主催者挨拶

私達NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会が開催致します明治大学マンドリン倶楽部の演奏会にお越しくださいます誠にお難う御座います。

既に皆様ご存じの通り明治大学マンドリン倶楽部は、優れた演奏力に加えパートリーの広さから、国内のみならず広く海外まで、そのパフォーマンスが高く評価されています。この度の演奏会開催に際しましては、多忙なスケジュールの中、私達の活動主旨にご賛同頂き開催の運びとなりました。

私達の目的は、町民の方々の高齢化や生活の多様化によって町民相互の助け合いの絆が希薄になりつつあるコミュニティを再生することです。このためには、住民一人ひとりが地域に関心を持ちボランティアの精神を醸成させ、互いに助け合える共助の町をつくることが不可欠であります。このことから、多くの方々が楽しく集える出会いや交流の機会を提供するため、明治大学マンドリン倶楽部の皆様の御厚意により「明治大学マンドリン倶楽部 コンサート in 酒々井」を開催致します。この演奏会では、第一部で皆様の過ぎし日々を思いを寄せる「心に残る日本の歌」第2部では、ポピュラー音楽を中心とした「世界の名曲綴り」を演奏して頂きます。多彩な演奏を心ゆくまでお楽しみいただけることを願っております。最後になりましたが、本日の演奏会の開催にあたり、惜しみないご協力をいただきました明治大学マンドリン倶楽部の皆様、関係者のみなさまに、心より御礼申し上げます。

まちづくりに関心をお持ちの方は、是非私達のNPO法人輝け酒々井まちづくり研究会の活動にご参加下さい。

平成 31 年 4 月 21 日

NPO 法人 輝け酒々井まちづくり研究会
理事長 山本 孝一

若人が奏でる珠玉の響き 明治大学マンドリン倶楽部 コンサート in 酒々井



 <p>「甲子正宗」の蔵元 飯沼本家が展開する 本格カフェ</p> <p>◎営業時間 11:00~17:00 (L.O.16:30)</p> <p>◎定休日 月曜日 ※月曜が祝祭日の場合 翌日休業</p>	<p>有限会社 大谷屋酒店</p> <p>本店 043-496-0724 東酒々井店 043-496-4554</p>	 <p>酒々井店 営業時間 10:00 ~ 21:00 酒々井町 中央台 2-2-2 043-481-7611</p>
 <p>食彩館 酒々井店 酒々井町中央台 2-24-1 TEL.043-496-3955 FAX.043-496-1444</p>	 <p>明治大学マンドリン倶楽部 コンサート in 酒々井</p> <p>地デジ10chにて放送! 5/16~31 10:30~12:30~</p> <p>お問合せ時間: 9:00~18:00(年中無休)</p> <p>0120-533-296</p>	<p>自家焙煎挽き売り スガ COFFEE</p> <p>成田市橋賀台1-45-2Y&Rハウス-C Tel 0476-37-5450</p>

主催:  NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会 080-2566-3233(山本)

共催: 酒々井まちづくり研究所 後援: 酒々井町

平成 30 年度町民交流事業

私達は、住民によるまちづくりの輪が広がることを願って活動しています。
【住民活動団体の応援・コーディネート、住民交流イベントの開催、まちづくり情報収集・広報活動】

2019.4.21(日) 開場 14 時 / 開演 14 時半

プリミエール酒々井文化ホール

第1部 心に残る日本のうた

オープニング 明治大学校歌

1 春一番 作曲：穂口雄右 編曲：甲斐靖文

昭和の代表的アイドルユニットキャンディーズの代表曲。もとはアルバム収録の楽曲でしたが、ファンからの熱望によってシングルカットされたという逸話があります。また、1996年12月のペルー日本大使公邸占拠事件ではラジオから春一番が流れ、人質となっていた人々を励ましたそうです。

2 「男はつらいよ」の主題歌 作曲：山本直純 編曲：甲斐靖文

テキ屋を生業とする寅さんこと車寅次郎が故郷の葛飾柴又に戻ってきては何かと騒動を起こす人情喜劇『男はつらいよ』の主題歌で、主演の渥美清が歌い上げています。当初は妹・さくらが嫁に行けないことを嘆く歌詞となっていたのですが、作中、妹がめでたくも結婚したためヤクザ者な自分を自嘲する歌詞へと変更されています。

3 東京ラブソディー 作曲：古賀政男 編曲：甲斐靖文

「花咲き花散る宵も、銀座の柳の下で…」昭和11年、古賀政男作曲、藤山一郎唄の名コンビにより、楽し都 恋の都、花の東京を華やかに謳い上げて一世を風靡した古賀メロディー。

4 東京五輪音頭 作曲：古賀政男 編曲：甲斐靖文

1964年に開催された東京オリンピックのテーマソング。宮田隆作詞、古賀政男作曲のこの曲は多くの著名な歌手陣によってカバーされましたが、三波春夫さんのレコードが最多売上を勝ち取りました。シベリア抑留経験者である三波さんは生涯レパートリーとして歌い続けました。日本の戦後復興を世界に知らしめる東京五輪を、なんとしても成功させたい想いがあったそうです。

5 影を慕いて 作曲：古賀政男 編曲：甲斐靖文

昭和3年、古賀政男先生の学生時代の作品。昭和6年古賀政男のギター伴奏で佐藤千夜子が唄い、翌年藤山一郎の歌で大ヒットを記録しました。苦渋に満ちた生活の中から生まれた曲であり、これが古賀メロディー時代の到来を告げる作品となりました。

6 丘を越えて 作曲：古賀政男 編曲：甲斐靖文

昭和の国民的作曲家である古賀政男が、明治大学卒業の年の春、マンドリン倶楽部の後輩たちと神奈川県相模原市の稲田堤へハイキングに出かけ、その時の楽しさをもとに青春を称えたマンドリン合奏曲「ピクニック」を作曲しました。藤山一郎の歌詞をつけて歌いたいとの提議により「ピクニック」は「丘を越えて」となりました。

7 朧月夜 作曲：岡野貞一 作詞：高野辰之

「故郷」の作詞作曲で有名な、岡野貞一と高野辰之のコンビで生まれた唱歌で、今日でも大変親しまれている名曲です。

皆様にご一緒に歌っていただくコーナーです。ご存知かとは思いますが、歌詞を右のページに用意しています。大きな声で歌っていただきたいと思ひます。

8 1970年代青春のフォークス・ポップスメドレー 編曲：甲斐靖文

フォークソング全盛といわれた1970年代を彩ったあの日あの歌、青春の思い出と共に、メジャーフォークとアイドルポップスのヒットナンバーをメドレーでお楽しみいただきます。

9 津軽組曲より「夏」 作曲・編曲：甲斐靖文

「津軽組曲」は青森県の民謡「津軽じょんがら節」をモチーフに甲斐靖文先生が作曲しました。津軽組曲は「春」「夏」「秋」「冬」そして「5番」の計5曲により構成されています。なかでも本日演奏する「夏」は第一回のアメリカ演奏会で初演され好評を博し、以後マンドリン倶楽部のレパートリーとしてほぼ毎回の演奏会で演奏しています。

(15分休憩)

第2部 世界名曲綴り

オープニング Oh, Pretty Woman

1. ニューシネマパラダイスよりメインテーマ

作曲：エンニオ・モリコーネ 編曲：甲斐靖文
1989年のイタリア映画『ニューシネマパラダイス』は、シシリーシシリーの小さな映画館の映写技師と映画好きの少年の物語です。500作以上の映画音楽を手掛けた、世界の映画音楽の巨星、エンニオ・モリコーネが、映画へのノスタルジーを愛情込めて謳い上げ、この作品に実にふさわしい音楽をつけました。

2. My Favorite Things 作曲：リチャード・ロジャース 編曲：甲斐靖文

ミュージカル『サウンド・オブ・ミュージック』で、家庭教師マリアが雷を怖がる子供たちへ歌った劇中歌です。日本では、JR東海の観光キャンペーン「そうだ、京都に行こう」のCMソングとして有名です。

3. ナポリ民謡メドレー 編曲：甲斐靖文

南欧の輝く太陽と紺碧の海、ナポリターナ「ガリオーネ」、舟人がうたう「サンタ・ルチア」、心はむすイタリアン・フォーク「村の娘」。陽気でかつ伸びやかな時が流れるイタリアの民謡を、メドレーでお楽しみいただきます。

4. トロイカ 作曲：作曲者不明 編曲：甲斐靖文

ロシア民謡の一曲。原題の直訳は「ほら、郵便トロイカが駆けている」。本来、トロイカとは3つ組という意味ですが、3頭立ての馬車として使われています。また、この曲は金持ちに恋人を奪われた御者の青年の悲しみを歌った哀切の歌です。

5. エーゲ海の真珠 作曲：アウグスト・アルゲーロ編曲：甲斐靖文

70年代スペインの大物シンガー・ソングライター、ジョアン・マヌエル・セラートの一曲。日本では、ポール・モーリアのアレンジ演奏で有名になりました。ギリシャ神話に登場するペネロペという悲しくも強い女性が表現されている一曲です。

6. ジェラシー 作曲：ヤコブ・ゲーゼ 編曲：甲斐靖文

タンゴ音楽で『タンゴ・ジェラシー』として有名な一曲です。1925年に発表され、100以上の映画の音楽として使われてきた大ヒット曲です。

7. ピンポージョ 作曲：マルチネス・ヒル 編曲：甲斐靖文

1950年代に作曲されたメキシコのラテンナンバーの一つです。ピンポージョとは本来バラのつぼみを意味しますが、ここでは素敵なお嬢さんとして使われています。親しみやすい曲調で、多くのアーティストにカバーされている名曲です。

8. マンボ2曲メドレー 作曲：ペレス・ブラード 編曲：甲斐靖文

1950年代に世界的なマンボブームを巻き起こした“マンボ王”ペレス・ブラードの代表曲「マンボ No.5」。ペレス・ブラード初めのヒット曲「エル・マンボ」は、後にマンボ・ジャンボと曲名が改められ、日本では文化放送「S盤アワー」のオープニングテーマ曲として使われました。

